

## 令和3年度第3回政策会議概要

- 1 開催日時：令和3年5月31日（月）9：00～9：20
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり  
（●議題提出部局説明・回答、☆意見・質問）

### 議題1 みえ子どもスマイルレポート（案）について

#### ●山添課長【少子化対策課】（資料1に基づき説明）

子ども条例に基づく取組としては、「子どもが意見表明する機会の設定」、「子どもが主体的に取り組むさまざまな活動の支援」などを実施した。

スマイルプランの11の重点的な取組のうち、調査中の1項目を除き、進展度が「進んだ」は5項目、「ある程度進んだ」は3項目あり、「あまり進まなかった」と評価した取組は、「子どもの貧困対策」「幼児教育・保育、放課後児童対策などの子育て家庭の支援」の2項目であった。各部局においては、進展度が上がるように施策の推進をお願いする。

今後、令和2年の合計特殊出生率が公表され次第、レポートに反映し、6月下旬の常任委員会で説明のうえ、周知を図る。

今後もスマイルプランの進捗管理のため、取組の状況を照会するので、関係部局におかれは、引き続き協力をお願いする。

#### ●中山子ども・福祉部長

レポートの作成に協力いただき、感謝申し上げます。令和2年度を取組については、新型コロナウイルス感染症の影響が各分野に及んでいるなかでも、各部局で取組手法など積極的に検討いただき、細やかに対応いただいた。これらはアフターコロナにおいても有効な取組として実施できる。また、新たな課題への対応も必要である。各部局においては子ども・福祉部と一層の連携をお願いしたい。

#### ☆知事

みえ子どもスマイルレポートに記載の課題については、しっかりと取り組むこと。コロナ禍で、国においても子ども庁の議論などが進み、子どもたちをどう見守り、健やかに育つようにするか、結婚や出産、子育ての希望をどう叶えるかという観点も必要となってくると思う。各部局においてはアンテナを高くし、また、市町や関係団体と連携して子どものためにしっかりと取組を進めること。

## 議題2 優先調達の推進について

### ●松崎課長【障がい福祉課】（資料2に基づき説明）

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、障害者就労施設等においても、非常に厳しい経営状況が続いていることをふまえ、令和3年度の調達目標は、令和2年度の目標から2百万円増の8千万円以上とし、調達方針を策定したいと考えている。コロナ禍における障がい者の就労活動の支援のため、各部局においては、さまざまな場面での優先調達の検討をお願いする。

## 議題3 「県民の声を受けて」公表分の概要について

### ●安井戦略企画部長（資料3に基づき説明）

本日の資料は、4月1日、4月16日、5月6日及び5月17日に県Webで公表した県民の声の概要である。複数の所属で対応したものがあため、県全体の対応件数は42件である。そのうち主な内容としては、「職員に関するもの」が6件、「県民の声を受けて実施した案件で、業務の改善等へ反映したもの」は2件である。

「職員の対応についての意見、苦情」について、一番目（No.1）の項目は戦略企画部の案件で、職員の不適切な対応により県民の方に不愉快な思いをさせてしまい、部内でもしっかりと注意喚起をした。各部局においても、こういったご意見に適切に対応していただくようお願いする。

「県民の声を受けて実施した案件で、業務の改善等へ反映したもの」については、県民の日記念事業イベントのオンライン講演会において、聴覚障がい者の方からの、手話がわからないので文字で情報提供していただけないか、というご意見に対して、講演終了後に期間限定で字幕付きの配信を行った。コロナ禍の中で県民サービスの向上につながった良い事例である。

### ☆高間総務部長

戦略企画部長から話があったが、職員の発言や行動について、県民の方からコンプライアンス意識の問題として今回も何件かご指摘をいただいている。あらためて職員の皆さんにコンプライアンス意識の徹底をお願いする。

（その他質疑なし）

※令和3年6月21日、議題3の概要を一部追記し、修正しました。（下線部分）